

救命救急センター(救急医学)

1. 目的と特徴

救急期および重症患者の診断治療に関する知識と技術を修得し、プレホスピタルケアから始まるチーム医療の中で、患者、家族、他医療スタッフと信頼関係を築き、TPO(Time Place Opportunity)に即した適確な判断と診療ができる医師の養成を目指す。結果として、いかなる社会構造においても必要とされ、貢献できる医師となりうる。

2. 指導スタッフ

教授・基幹分野長(診療部長・センター長)	森 周介
臨床教授	武田 宗和
講師	並木 みずほ
准講師	久保田 英
助教	大城 拓也、藤井 ひかり
後期研修医	池邊 怜寛

3. 研修施設

基幹施設: 東京女子医科大学救命救急センター

研修協力病院: 東京女子医科大学足立医療センター、東京女子医科大学附属八千代医療センター、戸田中央総合病院、静岡赤十字病院、大分医師会立アルメイダ病院、埼玉県済生会加須病院、東京医科歯科大学病院、東京消防庁災害情報センター

国外留学先: New York Medical College (U.S.A) , University of Graz (Austria) , Oregon Health & Science University (U.S.A)

4. 研修カリキュラム

A: 一般目標

「人間性、社会常識、倫理感、社会への使命感と責任感」という基本姿勢を育みながら、臨床医としての必要な知識と技能、かつ救命救急医として必要な専門的な知識と技能を身につけ、救急医療遂行上で必要な社会システムを理解した医師の養成を目指す。

B: 行動目標

- 1) 救急診療に必要な基礎知識を修得し、臨床に応用する。
- 2) 救急診療に必要な検査・処置・麻酔に習熟し、臨床に応用する。
- 3) 病態を把握し、資源として無駄のない検査を実施する。
- 4) 治療方針について、上級医と相談する。
- 5) 最新の医療情報、知識を取得して、臨床に応用する。
- 6) カンファレンスに参加して、積極的に討論する。
- 7) 低難度、中難度の救命処置と手術を施行する。高難度の救命処置と手術の助手をする。
- 8) 医療記録、診断書、報告書を遅滞なく正確に記載する。
- 9) 患者、家族の訴えを真摯に聞き、患者の苦痛、不安を理解する。

- 10) 患者、家族に病状、治療方針を説明する。
- 11) メディカルスタッフと協力し患者の問題点を解決する。
- 12) 救急医療、災害医療に必要な社会システムとメディカルコントロール医としての職務を理解する。
- 13) 医療安全管理の基本を説明し、実践する。
- 14) 学会に参加し、発表する。発表内容を論文として投稿する。
- 15) 上記すべてに対し、医学生、下級医、メディカルスタッフの指導をする。

C: 年次別研修スケジュールと研修内容概略

	研修場所	内容
1年	外来・ICU・病棟・他科ローテート／研修病院	救急患者外来対応、病棟管理、ICU管理、内視鏡、学会発表
2年	外来・ICU・病棟・他科ローテート／研修病院	救急患者外来対応、病棟管理、ICU管理、内視鏡、学会発表
3年	他科ローテート／研修病院	Subspecialtyの研修
4年	外来・ICU・病棟・研修病院	Subspecialtyの研修、救急患者外来対応、病棟管理、ICU管理、内視鏡、学会発表、論文作成、救急専門医取得
5年	外来・ICU・病棟・研修病院	Subspecialtyの研修、救急患者外来対応、病棟管理、ICU管理、内視鏡、学会発表、論文作成

内科学会認定医取得希望者は、内科ローテーションを行い認定医申請のための目標を到達することが可能であり、外科学会専門医取得希望者は、本学の外科総合研修ローテートを行い専門医取得が可能である。

他科ローテーションは循環器内科(CCU)、消化器内科を選択可とし、他診療科のローテーションは、相談により応じ、Subspecialtyの専門医取得を目指す。

国外留学は、希望者の目的により、期間、行き先を決定する。

D: 週間予定

	午 前	午 後
月	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	リハビリテーションカンファレンス ICU・病棟業務、三次救急患者初療 症例検討会、回診
火	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	ICU・病棟業務、三次救急患者初療 症例検討会、回診
水	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	ICU・病棟業務、三次救急患者初療 症例検討会、回診
木	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	ICU・病棟業務、三次救急患者初療 手術、症例検討会、回診
金	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	ICU・病棟業務、三次救急患者初療 症例検討会、回診
土	新患プレゼンテーション・症例検討会、回診、ICU、病棟業務・三次救急患者初療	

手術: 緊急手術は必要に応じ、曜日と時間を選ばずに実施する。準緊急手術は、木曜日の午後に予定。

研究発表会、学会発表予演会は、曜日は指定せず、午後の症例検討会に続いて行う。

E: 評価

後期研修開始時に「東京女子医科大学救命救急センター研修実績記録」を交付し、各自記入する。3年次の最初に研修実績記録により評価し、日本救急医学会専門医申請に必要な臨床実績で欠けている項目があれば、3年次に満たす。

他学会の専門医取得も可能であり、研修内容、症例数の調整を行う。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学救命救急センターに就職を希望するものは、診療部長、指導スタッフの協議を経て助教として採用も可能。

6. 学位

研究論文が掲載され後、診療部長との協議のもと、学位の申請が可能である。臨床大学院入学者は、4年間で研究を終え、研究論文を投稿し学位を取得できる。

7. 専門医

日本救急医学会救急科専門医を期間中に取得する。日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本外科学会・外科専門医、日本集中治療医学会・集中治療専門医、日本消化器内視鏡学会・消化器内視鏡専門医、日本消化器病学会・消化器病専門医、日本高気圧酸素療法・潜水医学学会専門医、日本消化器外科学会・消化器外科専門医、日本感染症学会・感染症専門医、日本麻酔科学会・麻酔科専門医などの取得が可能である。他専門医取得に関しては、相談に応じる。

8. 問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学救命救急センター

センター長 森 周介

TEL:03-3353-8111 (内線:36085)

FAX:03-5269-7335

E-mail: dem.ag@twmu.ac.jp